

広島県熊野町におけるがんの疫学研究について

平成15年10月28日
文 部 科 学 省
厚 生 労 働 省

1. 研究の概要

科学研究費補助金の助成を受け、研究者の自発的研究として実施されたもので、概要は以下のとおり。

研究代表者

中地 敬 (財)放射線影響研究所 放射線生物学 / 分子疫学部長

研究課題名

「がん関連遺伝子発現の個体差と宿主・環境要因に関する研究」

目的

がんの発病に関し、遺伝要因と環境要因の相互作用を明らかにする。

研究の方法

広島県熊野町の全町民に協力を依頼し、協力が得られた町民を対象として、

ア 調査票による生活習慣調査の実施

イ 採血により得た血液の成分分析及び遺伝子多型解析の実施

ウ 生活習慣、血液成分及び遺伝子多型とがんをはじめとする生活習慣病の発生・進展との関連についての調査

2. 問題点

本年6月以降、(社)日本医師会が記者会見等により以下の問題点を指摘。

- ・住民に対して、遺伝子解析の研究目的を明確に説明していないのではないか。
- ・町の住民を熊野町生活習慣病予防対策事業推進協力員として調査票の配布や回収に当たさせたことは、個人の自由意志の尊重や、プライバシー保護の点で問題があったのではないか。

3. 対応状況

本年7月、熊野町に設置されている「生活習慣病予防対策事業の推進に関する専門委員会」において、日本医師会らの指摘を踏まえ、以下の対応を決定。

- ・研究採血を含む研究行為を少なくとも1年延期すること。
- ・延期の間に、県医師会からの委員を含む専門委員会で研究の全面的な見直しを行うこと。
- ・今後の研究調査では、協力員による調査を行わないこと。